

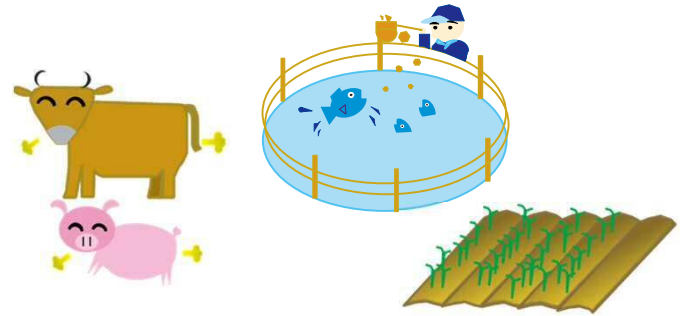
薬剤感受性試験(ディスク拡散法)を実施しています

抗生物質の多量使用により「薬剤耐性菌」が生まれ、農・畜産・水産業はじめ、公共用水域にも分布を広げており、国内外で大きな課題となっています。

「ディスク拡散法による薬剤感受性試験」を実施しています。

「G7閣僚会議(2023年4月)」や「アクションプラン(2023-2027)」において、養殖水産動物・家畜・環境水・土壌中などの**薬剤耐性菌の存在状況把握**や**具体的対応の重要性が示されました！**

大腸菌のディスク拡散法フロー



試験菌株及び精度管理株を培地で起こす

起きた菌株を非選択培地で継代

培養菌を釣菌し、滅菌生理食塩水4 mLに懸濁する。
濁度はMcFarland 0.5 に調整

調製後15分以内に感受性試験用平板に塗抹して接種

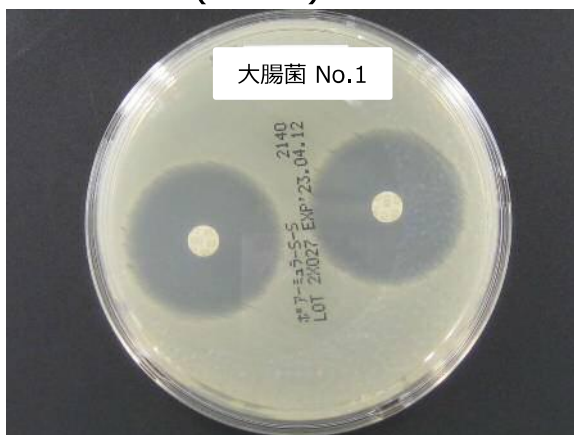
被験菌接種後3～5分間静置し、
15分以内にディスクを配置

35℃±2℃×17±1h 培養

ノギスを用いて阻止円直径を計測

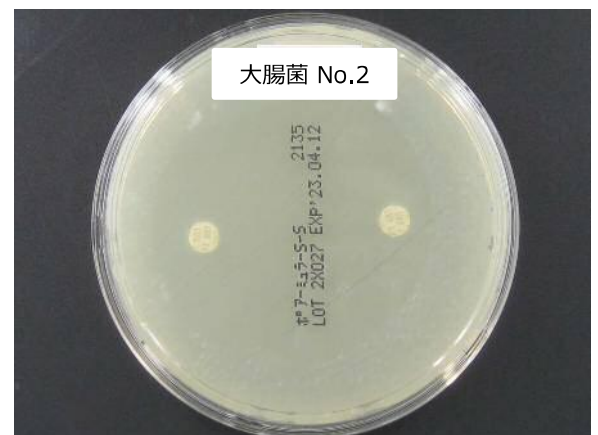
測定例

レボフロキサシン(LVFX)



判定:感性

BSL1の菌を対象としています



判定:耐性